



## #26 Cheering up a koohai who is feeling down

Superior:

整備する<sup>せいび</sup> 車<sup>くるま</sup>の 順番<sup>じゅんばん</sup>は守<sup>まも</sup>ってください。今回は手伝<sup>てつだ</sup>ってもらったからよかったけど、次回<sup>じかい</sup>からは一人<sup>ひとり</sup>で納期<sup>のうき</sup>に間<sup>ま</sup>に合うようにやってくださいね。

Koohai:

はい...。

Student:

お疲れ様<sup>つか</sup>、何か<sup>さま</sup>あったの？<sup>なに</sup>

Koohai:

いや、別に<sup>べつ</sup>、何<sup>なん</sup>でもないです。

Student:

よかったら、聞<sup>き</sup>くよ。話<sup>はな</sup>してみたら？

Koohai:

実は... 車<sup>くるま</sup>の整備<sup>せいび</sup>の 順番<sup>じゅんばん</sup>を、自分<sup>じぶん</sup>の判断<sup>はんだん</sup>で変<sup>か</sup>えてしまったんです。そのほう<sup>は</sup>が早<sup>はや</sup>く終<sup>お</sup>わると思<sup>おも</sup>ったんですよね。

Student:

ああ、そうだったんだ。僕<sup>ぼく</sup>もはじめは、マイペースに仕事<sup>しごと</sup>をしすぎて怒<sup>おこ</sup>られてばかりだったよ。段々<sup>だんだん</sup>、ペースも身<sup>み</sup>に付<sup>つ</sup>いてくるよ。

Koohai:

そんなもんですかね...。

Student:

うまくいかないこともあるよ。気持ち<sup>きもち</sup>を切り替<sup>き</sup>えてやってみようよ。

Koohai:

はい、ありがとうございます。がんばります！